

2025 年度聖学院大学大学院

心理福祉学研究科
秋期入学試験問題

<p>[心理福祉学研究科] 修士課程</p> <p>公認心理師科目論述試験 (60分)</p>

<注意事項>

- ① 監督者の指示があるまで、この問題用紙を開かないで下さい。
- ② 監督者の指示により、解答を止めて下さい。
- ③ 試験終了後、問題用紙と解答用紙を回収します。
- ④ 机の上には、受験票・筆記用具のみを置いて下さい。
- ⑤ 質問等がある場合は、静かに挙手して監督者を待って下さい。

受験 番号		氏 名	
----------	--	-----	--

【公認心理師】

1. 「統合失調症」について、その原因、症状及び治療方法についてふれながら説明しなさい。

2. 次の事柄について説明しなさい。
 - ① ワーキングメモリ
 - ② テスト理論
 - ③ アタッチメント

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科修士課程
入学試験問題解答例等

入試実施年度	問題番号	試験科目名
2025 秋期 (24 年度実施)	MSPL-001	心理福祉学研究科修士課程専門科目 ・心理福祉学コース 心理学 ・公認心理師コース 心理学

・入試問題解答例等

【設問】

1. 「統合失調症」について、その原因、症状及び治療方法についてふれながら説明しなさい。
2. 次の事柄について説明しなさい。
 - ① ワーキングメモリ
 - ② テスト理論
 - ③ アタッチメント

【出題意図】（論述式）

公認心理師養成課程において心理学に関する研究や実践を遂行するにあたり、必要となる知識の有無を確認するために、基本的な用語を説明できる力を確認することを意図している。

【採点時の評価のポイント】（論述式）

1. 統合失調症に関する説明として、原因、症状、治療方法の三要素にバランスよく言及しているかどうかを評価した。加えて、専門用語を正しく用い、内容が簡潔かつ論理的に整理されているかも確認した。
2.
 - ① ワーキングメモリの概念について、定義を正確に示し、その構成要素や機能に言及しているかを評価した。加えて、心理学的意義や認知過程との関連を簡潔に整理できているかを確認した。
 - ② テスト理論の基本的枠組みについて、古典的テスト理論と項目反応理論の特徴や違いに触れているかを評価した。さらに、信頼性・妥当性など主要な概念を正しく説明し、心理測定における意義を論理的に整理できているかを確認した。

③アタッチメント理論の基本的な考え方について、定義を明確に示し、主要なタイプや発達の意義に言及しているかを評価した。加えて、理論の背景や心理臨床への応用に触れているかを確認した。